

## 206 イエスの復活(4)

ルカによる福音書 24 : 13~35、マルコ 16 : 12~13

イエス、エマオで現れる (ルカによる福音書 24 : 13~35)

13 ちょうどこの日 (→過越祭を終えた、日曜日の午後)、(十二弟子ではないが、イエスの七十二人の弟子の中の) 二人の弟子が、(絶望の中) **エルサレム** から **六十スタディオン** (185m/スタディオン×60 スタディオン=11.1 km) 離れた **エマオ** という村へ向かって (帰路を) 歩きながら、  
14 この一切の出来事について話し合っていた (→They were talking・・・→進行形)。



15 話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に (→連れ立って) 歩き始められた。

→ユダヤ人社会では旅の途中で知らない人が会話に加わることは普通のことだった。

16 しかし、二人の目は (悲しみに沈み) 遮られていて、イエスだとは分からなかった。

→NIV : but they were kept from recognizing him. /NKJV : But their eyes were restrained, so that they did not know Him.

17 イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。

(気付いた) 二人は暗い顔をして立ち止まった。

18 その一人の **クレオパ** (→七十二人の弟子の一人) という人が答えた。

「エルサレムに滞在していながら、この数日そこで起こったことを、あなただけはご存じなかったのですか。」

→リビング・バイブル : クレオパというほうの弟子があきれたように、「エルサレムにいながら、先週起こった、あの恐ろしい出来事を知らないとは。そんな人は、あなたぐらいのものでしょうか」と言いました。

→クレオパは、ここにしか登場しない。

クレオパは、イエスの弟ヤコブの後任として、初代エルサレム教会の有名な指導者になった。また、彼はメシアニック・ジューたちを導いた。

→ルカは、ここで、イエスを拒否したユダヤ人の責任を問うている。

19 イエスが、「**どんなことですか**」と言われると、二人は言った。

「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。20 それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。21 わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目 (→金、土、そして日曜日) になります。22 ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、23 遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。24 仲間の者が何人か墓へ行ってみたのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」

25 そこで、イエスは言われた。

「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、26 **メシアは** こういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」

→リビング・バイブル : 「ああ、どうしてそんなに、心が鈍いのですか。預言者たちが聖書に書いている

ことを信じられないのですか。」

→メシア：神が選び油注がれた者

27 そして、**モーセ (の律法)** とすべての**預言者** から始めて、(ユダヤ教) 聖書 (→旧約聖書) 全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。

→リビング・バイブル：それからイエスは、創世記から始めて、聖書 (旧約) 全体にわたって次々と預言者のことばを引用しては、救い主についての教えを説き明かされました。

→**モーセ (の律法)** とすべての**預言者** = 旧約聖書

→律 法 = モーセ五書：神の民の初期の歴史と、神がモーセを通じて人々に与えた正しく生きるために  
の諸規定が記されている = 創世記、出エジプト記、レビ記、民数記、申命記

→預言者：神の特別な預言者たちによって書かれた書物 = ヨシュア記、士師記、サムエル記上、サムエル  
記下、列王記上、列王記下、イザヤ書、エレミヤ書、エゼキエル書、十二預言書 (ホセア書、ヨエル書、  
アモス書、オバデヤ書、ヨナ書、ミカ書、ナホム書、ハバクク書、ゼファニヤ書、ハガイ書、ゼカリヤ書、  
マラキ書)

28 一行は目指す (エマオの) 村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。

29 二人が、「**一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから**」と言っ  
て、無理に引き止めたので、イエスは**共に泊まるため家** (の中) に入られた。

#### 【参考】四国八十八ヶ所遍路で利用できる無料宿泊所の「通夜堂」および「善根宿」

通夜堂 (つやどう) や善根宿 (ぜんこんやど) は、お遍路さんを対象とした無料宿で、お接待の一環として提供されます。お接待とはお遍路さんに対する無償の施しを言い、弘法大師に対するお供えでもあります。

通夜堂は、参拝者のために八十八ヶ所の札所や別格札所などの寺院が、宿泊場所を善意で提供している  
ものです。また、善根宿は、お遍路さんのために地元の個人の方が、宿泊所を善意で提供しているもので  
す。通夜堂や善根宿には宿泊サービスはなく、泊まる際はお願いしなければなりません。宿泊後はお礼を  
言い、出立しますが、部屋掃除や主人の手伝いなどをして出立する方もいます。

30 一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになっ  
た。

31 すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。

32 二人は、「**道で話しておられるとき、また (ユダヤ教) 聖書 (→旧約聖書) を説明して下さったとき、  
わたしたちの心は燃えて (感動して) いたではないか**」と語り合った。

33 そして、時を移さず (→すぐに) 出発して、**エルサレム** に戻ってみると、(イエスの) **十一人** (の使徒  
たち) とその仲間が集まって、34 本当に**主は復活して、(弟子たちの中で、最初に) シモン (・ペトロ)**  
**に現れた**と言っていた。

35 二人も、道で起こったことや、パンを裂いて下さったときにイエスだと分かった次第を話した。

#### 【参考】復活したイエスの顕現

< 1 > マグダラのマリアに現れる (マルコ 16 : 9~11、ヨハネ 20 : 11~18 他) →ファイル No. 204

< 2 > 婦人たちに (マタイ 28 : 9~10 他) →ファイル No. 204

< 3 > エマオ途上の二人の弟子たちに (ルカ 24 : 13~32 他) →ファイル No. 206

< 4 > **シモン・ペトロ** に (ルカ 24 : 34) →ファイル No. 206

< 5 > トマスを除いた弟子たちに (ヨハネ 20 : 19~25、ルカ 24 : 36~49 他)

< 6 > トマスを含む弟子たちに (ヨハネ 21 : 24~31)

< 7 > ガリラヤ (ティベリアス) 湖畔で 7 人の弟子 (ペトロ他) たちに (ヨハネ 21 : 1~25)

< 8 > 500 人以上の兄弟 (信徒) たちに (I コリ 15 : 6)

< 9 > ヤコブに (I コリ 15 : 7)

< 10 > オリーブ山で使徒たちに (使徒 1 : 3~12)

**【参考】 聖書に登場する「七十二人の弟子」**

	タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 2 / 聖句等の総数 33250 <七十二人>2個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 七十二人]
S	ルカによる福音書	10:1 その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。	
S	ルカによる福音書	10:17 七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。「主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します。」	

LUKE 10:1

N I V : After this the Lord appointed seventy-two others and sent them two by two ahead of him to every town and place where he was about to go.

NKJV : After these things the Lord appointed seventy others also, and sent them two by two before His face into every city and place where He Himself was about to go.

LUKE 10:17

N I V : The seventy-two returned with joy and said, "Lord, even the demons submit to us in your name."

NKJV : Then the seventy returned with joy, saying, "Lord, even the demons are subject to us in Your name."